

■授業の目的

本科目は、政治学の基礎を学び、専門的な学習のための基礎、ならびに社会人として必要な教養を身につけることを目的とするものである。

■授業の到達目標

- ①政治学の基礎概念、政治の基本的な仕組みについての知識を獲得すること。
- ②政治について論拠に基づいた議論・発想ができるようになること。

■授業計画

- 1 イントロダクション
講義の進め方、単位取得の条件、試験の形式について説明する。
- 2 デモクラシーの起源
古代のデモクラシーと近代のデモクラシーの特徴について講義する。
- 3 デモクラシーの変容
国民国家、大衆デモクラシーの登場について講義する。
- 4 福祉と政治
福祉国家の来歴と特徴について講義する。
- 5 デモクラシーの様々な仕組み
議院内閣制と大統領制の違いについて講義する。
- 6 選挙
選挙制度と投票行動論について講義する。
- 7 議会と政党
議会と政党の機能について講義する。
- 8 中間講義
受講者との質疑応答を通じて講義の前半部を振り返る。
- 9 政策過程と官僚・利益集団
政治過程ならびにそのアクターについて講義する。
- 10 世論とマスメディア
メディアによる世論形成と政治の関係について講義する。
- 11 地方自治
地方自治ならびに地方分権について講義する。
- 12 グローバル化
グローバル化に伴う政治単位の再編について講義する。
- 13 デモクラシーの現在
デモクラシーに関する先端的な現象と理論について講義する。
- 14 講義の補足とまとめ
受講者との質疑応答を通じこれまでの講義を振り返る。
- 15 試験と解説
期末試験および終了後にフィードバックとして解説を行う。

■授業の方法

毎回レジュメを配布し、これに基づいて講義を行う。また、可能なかぎりを受講生との双方向的な意見の交換を随時試みる。

■予習・復習

授業計画に沿ったアサインメント（教科書の通読）を、毎週の予習課題とする。復習としては、講義で学んだ枠組や知識を用いてニュース等で接する政治的イシューを考えてみるのが望ましい。

■成績評価の方法

中間レポート（30%）、期末試験（70%）。また毎回の講義の終わりに任意でリアクションペーパーを提出してもらい、しっかりと書かれているものについては若干の加点をする。

■教科書・参考書

教科書：川出良江・谷口将紀編『政治学』東京大学出版会、2015年

参考書：上神貴佳・三浦まり編著『日本政治の第一歩』有斐閣、2018年

■関連する科目

政治学入門、比較政治学、現代デモクラシー論、ヨーロッパ政治論、政治過程論